

ロータリー財団月間・世界インターアクト週間によせて

国際ロータリー
第2660地区

ガバナー

新谷 秀一



今月はロータリー財団月間と11月5日を含む1週間が世界インターアクト週間です。はじめに、ロータリー財団について記述いたします。

1917年にRI会長となったアーチ・C・クラフはその年の国際大会で「全世界的な規模で慈善・教育・その他社会奉仕の分野で、より良きことをするために基金をつくろう」と提唱しました。この呼びかけに対して、カンザスシティロータリークラブが、その翌年に開催されたカンザスシティの国際大会の余剰金26ドル50セントを寄付したというのが、ロータリー財団の出発だといわれています。この基金は1928年に「ロータリー財団」と名づけられ、1931年に信託組織に、その後1983年に非営利財団法人となりました。

「ロータリー財団の使命は、地区レベル、全国レベル、国際レベルの人道的、教育的、文化交流プログラムを通じて、ロータリーの綱領とロータリーの使命を遂行し、かつ

世界理解と平和を達成しようとする国際ロータリーの努力を支援すること」と決定されました。その使命のためには奉仕活動の充実と資金面の援助が重要であります。

この目的のために、1. 年次寄付、2. 恒久基金、3. 奨学金、4. 学友、5. 世界平和フェローシップおよび解決のための研究、6. 研究グループ交換(GSE)、7. 補助金、8. ポリオプラスの小委員会を設けることが推奨されておりますが、当地区は、財団情報・増強委員会、財団奨学金・学友委員会、研究グループ交換委員会、財団人道的補助金委員会と、4委員会の委員長でロータリー財団委員会を構成し1～8までの事業に取り組んでいます。

ロータリー財団のことは、今一つ解りにくいというご意見もありますが、本年度のロータリー財団委員会は、目標の一つに「ロータリー情報の共有化」を掲げ、地区ホームページ等を通じクラブの全会員にまでロータリー